

令和4年5月20日

保護者各位

岐阜市立岐阜小学校
校長 藤田 忠久

登下校中における熱中症予防について（お知らせ）

平素より、本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今週も暑い日が続くようになり、6月にはますます気温も湿度も高くなることが予想されます。そこで、岐阜小学校の考えた「登下校時の熱中症予防」について、改めてお知らせします。一昨年度、昨年度と同様に、次のように指導をいたしますので、ご理解ご協力のほど宜しくお願いいたします。

記

1 脱水症状の回避

登下校中に脱水症状とならないよう、各自で水筒を持参し、水分補給を行うこと。

① 持参した水筒のお茶は終日にわたって飲んでよい。（これまでの「午前のみ」から改訂）

② 水筒のお茶がなくなったときや、下校中に不足しそうな場合には、学校の水道水を入れる。

※ お茶を凍らせた氷であれば水筒に入れてもよいようです（水を凍らせた氷は衛生面での安全性が確保できません）。

2 直射日光の回避

(1) 安全帽子を必ず被り、できるだけ日陰を歩くこと。

(2) 各自持参した日傘を利用してもよいこと。その際には、以下の事項に十分留意すること。

① 日傘が人や物に当たらないよう、振り回したり近づいたりしない。

② 両手が塞がらないよう、日傘以外の物は肩にかけるなどして手に持たない。

※ 「雨天以外の傘利用に慣れていないこと」「雨傘ではアスファルトと傘の間に熱がこもること」「視界が遮られたり手が塞がったりして危険が増すこと」などの理由から、本校では「小学生の日傘の利用は推奨できない」と考えていますが、利用禁止と言うことではありません。ご家庭でも、よく話し合ってみてください。

3 体温上昇の防止

(1) できるだけ通気性のよい服装を心がけること。

(2) 冷感マフラー（水に濡らしたり保冷剤を包んだりしたタオルなどを首に掛けること）を使用してもよいこと。その際には、以下の事項に十分留意すること。

① 首に巻き付いて苦しくなるようなことがないようにする。

② 振り回すなど、体を冷やす以外の目的では使わない。

4 マスクの着用

(1) 気温や湿度が高い日はマスクを外してもよいこと。その際には、以下の事項に十分留意すること。

① 息が弾むことで平常時より飛沫がより広く拡散するため、走ったりして息がはずむような動きはせず、会話も極力控える。

② 児童間の距離を2m程度あけて登下校すること。その際は、間隔の維持や交通安全に気をつける。

(2) 会話を控えることや身体的距離を保つことが難しい場合は、マスクを着用すること。

* 別件ですが、今年度の第1回PTA役員会で「暑くなって体操服通学をするようになると登下校中に学校・学年・学級・氏名をさらすことになるので心配」ということが話題に上がりました。岐阜小学校では、これまで「名札をつけること」「体操服には名前を書いた布を左胸につけること」を入学説明会でお話しし、登下校時も「見守り隊をはじめとする地域の方にも名前を覚えてもらえる」という考え方もあって、特に名前を隠すような指導はしてきませんでした。しかし、前述の心配される気持ちも理解できますので、体操服への記名を見えないところにすることも認めていきたいと思っております。その場合には、学級担任まで電話や連絡帳等でご連絡ください。